PINK RIBBON
笑顔の秘密は知れたこと。
SYMPOSIUM
ピンクリボン シンポジウム
2020
—乳がんの最新治療と心のケア—

PostPet™

Pink Ribbon

どんなときも、あなたは決してひとりじゃない。
乳がん専門医やあなたと同じ乳がんと向き合っているゲストのお話から
笑顔になれるヒントがきっと見つかるはずです。

動画配信

2020年10月1日(木)スタート

視聴方法

ピンクリボンフェスティバル公式サイト内「シンポジウム」ページにて
https://www.pinkribbonfestival.jp/symposium/

特別協賛	SOMPOひまわり生命 あなたが健康だと、だれかがうれしい。
協力	キリンビバレッジ株式会社
主催	日本対がん協会、朝日新聞社
後援	厚生労働省、東京都、日本医師会、日本看護協会、日本乳癌学会、日本乳癌検診学会、日本癌治療学会、日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会
広報協力	ソニーネットワークコミュニケーションズ

プログラム一覧

動画①	講演 **『乳がんの診断と治療 ー最近の話題よりー』** 講師：中村 清吾 先生（昭和大学医学部乳腺外科教授・日本乳癌学会監事）
動画②	講演 **『コロナウイルス感染症流行下の乳がん診療 ～必要な医療を必要な人に～』** 講師：下村 昭彦 先生（国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科／臨床ゲノム科）
動画③	講演 **『一緒に考えよう！ もし乳がんのなりやすさがわかったら』** 講師：鈴木 美慧 先生（聖路加国際病院 遺伝診療部認定遺伝カウンセラー・同研究センター臨床助教）
動画④	ゲストトーク **『乳がんになっても大丈夫。』** ゲスト：だいたひかるさん（お笑い芸人） 司会：原元 美紀さん（フリーアナウンサー）

動画 1

講演 乳がんの診断と治療 ー最近の話題よりー

講演3つのポイント

❶ 乳がんの検診、疫学
❷ 遺伝性乳癌・卵巣癌症候群について
❸ がんゲノム医療における乳がんの位置づけ

中村 清吾 先生
（昭和大学医学部乳腺外科教授・
日本乳癌学会監事）

略歴		
	1982 年	千葉大学医学部卒
	同年	聖路加国際病院外科にて研修
	1997 年	M.D. アンダーソン癌センターほかにて研修
	2003 年	聖路加国際病院外科医長
	2005 年	同ブレストセンター長
	2010 年	昭和大学医学部乳腺外科教授、 同病院ブレストセンター長

日本乳癌学会監事、
日本乳房オンコプラスティックサージャリー学会監事、
一般社団法人日本遺伝性乳癌卵巣癌総合診療制度機構理事長、
日本乳腺甲状腺超音波医学会（JABTS）顧問

主な著書		
	2012年	『「乳がん」と言われたら･･･』保険同人社（2012 年）
	2008年	『乳がん　正しい治療がわかる本』法研（2008 年）
	2006年	『専門医が答える Q&A　乳がん』主婦の友社（2006 年）
	2004年	『乳癌 MRI 診断アトラス』（編集・執筆）医学書院（2004 年）
	2004年	『悪性と間違えやすい乳腺の良性病変（共著・共執）篠原出版新社（2004 年）　他

本年は、コロナ禍にて、特に４月以降の乳がん治療が、一部滞りを見せた。しかし、本年４月は、大幅な保険医療改定の節目であり、乳癌の領域でもいくつか新たな変革がもたらされた。その一つは、乳癌全体の５－10％を占める遺伝性乳がん卵巣がん（Hereditary Breast and Ovarian Cancer :HBOC）に対する検査（BRCA 検査）と予防手術（対側乳房切除術＋再建と卵管卵巣切除術）が保険適用となったことである。これまで、高額な自費での対応を余儀なくされていた患者さんにとっては、大いなる福音となった。

近年、我が国における乳癌罹患数は、1985 に年間約２万人であったが、近年の推計値では約 10 万人と著増し、その対策は喫緊の課題となっている。その背景として、生活習慣、特に食生活の欧米化（過食、肥満傾向）があり、①初経年齢の若年化②閉経年齢の高齢化③出産回数の減少④出産年齢の高齢化等がリスク因子として挙げられている。これらは、乳がんの約 80% がエストロゲンの刺激で増殖が活発化することで、月に１回高いエストロゲンにさらされる回数が著明に増えていることに関係していることが示唆される。また、閉経後の肥満もリスク因子に取り上げられている。したがって、乳がんの予防対策としても、生活習慣病の予防と同様、肥満を避けるためのダイエットと適度な運動が勧められている

また、先行してきた欧米では、乳腺が発達していて脂肪の少ない、いわゆる高濃度乳房では、小腫瘤を見逃す可能性が高いことが指摘され、特に40代のマンモグラフィ検診の有効性に疑問が呈され、超音波による検査をどう組み込むか等検討がなされている。今後は、前述の遺伝性の乳がんを発症する可能性がある群や、高濃度乳房にてマンモグラフィ検診のみでは不十分な群あるいは従来からのマンモグラフィ検診のみで十分な群に分け、個別に検討することが求められている。

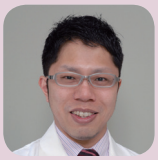
動画 2

講演

コロナウイルス感染症流行下の乳がん診療
～必要な医療を必要な人に～

講演3つのポイント

❶ コロナウイルス感染症流行下で注意すべき点
❷ 感染を防ぎ、治療を継続するために、医療者が注意すべきこと、患者が注意すべきこと
❸ 最近承認された新薬とその特徴



下村 昭彦 先生
（国立国際医療研究センター乳腺・腫瘍内科／臨床ゲノム科）

略歴	
2007 年 3 月	滋賀医科大学医学部医学科卒業
2007 年 4 月	JR 東京総合病院 臨床研修医
2009 年 4 月	虎の門病院 外科 後期レジデント
2011 年 4 月	虎の門病院 乳腺・内分泌外科 医員
2012 年 4 月	虎の門病院 臨床腫瘍科 医員
2014 年 4 月	国立がん研究センター 早期探索・臨床研究センター 先端医療科 (中央病院治療開発コース) がん専門修練医
2015 年 4 月	国立がん研究センター中央病院 乳腺・腫瘍内科 医員
2016 年 4 月	国立がん研究センター中央病院 先端医療科 医員 (併任)
2016 年 5 月	国立がん研究センター 先端医療開発センター 新薬臨床開発分野 医員 (併任)
2018 年 3 月	熊本大学大学院医学教育部博士課程卒業 (医学博士)
2018 年 8 月	国立がん研究センター中央病院 遺伝子診療部門 医員 (併任)
2019 年 4 月	国立国際医療研究センター　乳腺・腫瘍内科
2020 年 1 月	国立国際医療研究センター　臨床ゲノム科 (併任)

主な著書	
2019 年	高齢者のがん薬物療法ガイドライン、南江堂、2019 年

2020 年 1 月 16 日に国内初の新型コロナウイルス感染症 (COVID-19) 患者が確認されてから、3 月中のスペイン、イタリア、イギリス、米国などでの大流行、2 週間ほど遅れて日本での第一波と、全世界のすべての人々が COVID-19 による大きな影響を受けた。その後落ち着いた国もあるが、日本国内では 7 月中旬以降第二波が押し寄せている。徐々に新規感染者数は減っているものの、予断は許さない状況である。

COVID-19 は一般診療にも大きな影響を与えた。がんも例外ではない。国立がん研究センターがん情報サービスによる 2019 年のがん統計予測によると、乳がん罹患数は 92,220 人、死亡数は 15,100 人と予測されており、女性の罹患するがんの中で最多である。しかしながら、特に 4 月中は通常行われる検診も中断され、乳癌学会を含む様々な学会から出されたガイダンスでは、治療の延期や中断が推奨された。これらの延期・中断が予後にどのような影響を与えるか、今後の統計を見ていかなければわからないが、一部のシミュレーションでは進行がんの増加や死亡率の上昇の可能性があることが示唆されている。これらの延期・中断の根拠には 2 つの点があるが、あまり議論されてこなかった。一つは医療資源 (人的・物的) の逼迫であり、一つは患者個人の感染・重症化リスクである。医療資源の逼迫については政策的な判断が必要であるが、患者ごとのリスク評価については、感染･重症化のリスクと治療中断･延期によるリスクを個別に見積る必要がある。欧州臨床腫瘍学会は先日ガイダンスを更新し、COVID-19 パンデミック下でも基本的にがん治療は可能であるとの声明を出した。

当センターは感染症指定医療機関であり、早いうちから否が応でも COVID-19 に向き合わざるを得なかった。その中で痛感したのは、治療が必要ながん患者に必要な治療を適切に届けることの重要性である。乳がんでは近年新規薬剤が多数承認されており、予後がさらに改善することが期待されている。私たちがん治療医はニューノーマルの中で適切な治療を届けていくことが必要である。そして、極力接触を減らすことのできるより簡便で低侵襲な方法の開発が急務である。

動画 3

講演

一緒に考えよう！ もし乳がんのなりやすさがわかったら

講演3つのポイント

❶ 乳がんって遺伝するの？
❷ 遺伝子の検査で何がわかるの？
❸ これからの治療や検診に何が役立つの？

「私が乳がんとわかったとき、17歳と14歳の娘のことが頭に浮かびました。私の乳がんは遺伝するのだろうかと。（45歳女性）」

乳がんは9人にひとりの女性が発症します。あなたやあなたの家族がもし乳がんとわかって、きょうだいや子、親のがんのなりやすさについても不安に思ったらどこに相談をしたらいいでしょうか。または、乳がんだけではなく、がんを発症した家族が多いとき、自身ががんになっていなくても、がんのなりやすさについて相談できる場所はあるのでしょうか。

人の体の設計図（遺伝子）を調べることができるようになって20年以上がたち、遺伝子の解析技術も発展してきました。最近では、がん細胞に起こっている遺伝子の変化を解析して治療選択に役立てる試みや、もって生まれた遺伝子の変化の検査の結果にもとづいてがんのなりやすさを予測し、がんを早期発見するための検診をできるようになってきました。特に2020年4月から生まれつき遺伝性乳がん卵巣がん症候群（HBOC）という乳がんや卵巣がんになりやすい遺伝子の変化をもっているかを調べる遺伝子検査や、HBOCと分かった方のがんのリスクを下げる目的の手術が条件を満たせば保険適応になったことは、今回のシンポジウムでお話しします。

鈴木 美慧 先生
（聖路加国際病院 遺伝診療部認定遺伝カウンセラー・同研究センター臨床助教）

■略歴
福島県出身。筑波大学生物学類卒業後，2014年にお茶の水女子大学大学院遺伝カウンセリング領域にて修士号取得。2020年同博士課程満期修了退学。認定遺伝カウンセラーとして公益財団法人がん研有明病院乳腺外科，学校法人聖路加国際病院遺伝診療部にて，遺伝性腫瘍の相談・遺伝カウンセリングに従事する。

略歴		
	2015年4月	公益財団法人がん研究会有明病院乳腺外科
	2016年4月	現職

認定遺伝カウンセラー（CGC）
一般社団法人日本人類遺伝学会　広報委員会
一般社団法人日本遺伝カウンセリング学会　教育啓発委員会
一般社団法人日本サイエンスコミュニケーション協会　広報委員会
一般財団法人武田計測先端知財団　アシスタントプログラムオフィサー
一般社団法人 CancerX 理事

主な著書		
	2017年	実践！遺伝性乳がん・卵巣がん診療ハンドブック：HBOC管理とがん予防のためのネクストステップ（メディカ出版・2017年）

私たち遺伝の専門スタッフは、相談におとずれた一人一人の治療状況や家族背景、思いに寄り添いながら、がんと遺伝に関する疑問の解決や遺伝子検査、リスクを下げるための選択をサポートできるように準備しています。日本全国どこでもこうした遺伝について相談できる場所があり、いつでもどなたでも相談できるようになってきています。

今回のシンポジウムでは、事前に皆さんからの質問を募集し、その内容を参考にしながら一緒に考えてく時間です。もしHBOCについてもっと詳しく知りたいと思ったら、こちらのホームページも参考なります。

http://hboc.jp/about_hboc/index.php

動画 4

ゲストトーク 乳がんになっても大丈夫。

2016年1月、40歳の時に区から届いた乳がん検診クーポンを使っての受診をきっかけに右胸に乳がんが見つかっただいたひかるさんは、全摘手術ののちにリンパ節転移が見つかり、半年間の抗がん剤治療とホルモン療法を受けます。その後2019年全摘した右胸に再発、放射線治療を受けられました。

「自分と同じ思いをしている方を少しでも励ますことができたら・・・」とブログ内で積極的に情報発信をされ、頻繁に読者の方からの質問に回答し、励ましのメッセージを送り続けています。そんなだいたさんに勇気を貰った、元気になった、という読者の方からの声でブログ内はいつも暖かい雰囲気に。

今回は、最初にがんが見つかってから再発までの経緯、その時のお気持ち、これからの生き方や目標、また、がん経験者としてのコロナ禍での過ごし方についてなど、様々なお話を頂きます。

だいた ひかる さん
（お笑い芸人）

■プロフィール
1975年5月25日、埼玉県東松山市出身。
「どーでもいーいですよー」の持ちネタで知られるピン芸人。R－1ぐらんぷり初代チャンピオンとなりブレークする。バラエティ番組等数多くのメディアで活躍。
2016年、ステージ2Bの乳がんと診断され右乳房の全摘出手術をする。
しかし全摘した方の右胸にしこりが見つかり、2019年2月自身の公式ブログで乳がんの再発を公表。
現在は治療をしながら仕事を継続し、テレビや舞台など多方面で活躍。またかねてより文具マニア・文具大好き芸人として知られ、文具メーカーと共同で商品開発し、オリジナルブランドを発足するなど文具のプロデュースにも携わっている。

だいたひかるオフィシャルブログ
https://ameblo.jp/daitahikaru-blog/

原元 美紀 さん
（フリーアナウンサー）

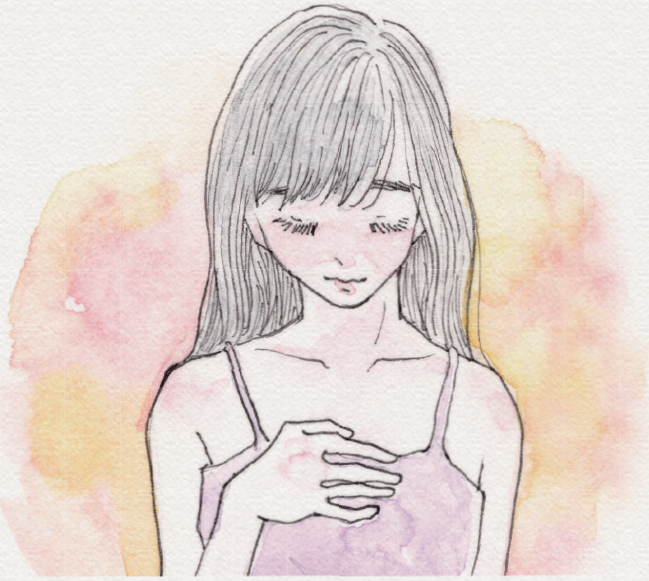
テレビ朝日「羽鳥慎一モーニングショー」に出演中。CBC中部日本放送アナウンサーを経てフリーに転身後、日本テレビ「ニュース朝いち430」「はーい朝刊」など、数々のニュース番組でキャスターを務める。また、38歳で大腸がんを早期発見、治療した経験から、広くがん検診を呼びかける活動に取り組む。2008年より、NPO法人「ブレイブサークル」大腸がん撲滅キャンペーンのメインサポーター・副理事に就任。

SOMPOひまわり生命

あなたが健康だと、だれかがうれしい。

胸を愛し、胸をはって生きる
すべての女性のために

「リンククロスピンク」は、乳がんの早期発見・万が一の保障・
治療後のケアまで、トータルにサポートします。



Linkx pink
リンククロス

万が一に備えて、今からしっかり。
ドクター監修のお役立ち情報を中心にお届けしています。
今すぐ「リンククロス ピンク」公式LINEアカウントに登録！

ひまわり生命保険は、
ピンクリボン活動を
応援しています。

Pink Ribbon

©2003 日本対がん協会

SOMPOひまわり生命保険株式会社
〒163-8626 東京都新宿区西新宿6-13-1新宿セントラルパークビル
Tel:03-6472-3111 http://www.himawari-life.co.jp/